

#ミライキッズ Project

現場実務なく、近隣小学校との関係強化ご提案：

当活動により、近隣小学校のプログラミングに興味のある
子どもは必ず、貴社を認識、貴社へ興味を抱きます

企画：NPO法人ミライキッズ
運営ミライキッズ事務局

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



ミライキッズは文科省推奨コンテンツ

ミライキッズのプログラミング教育コンテンツは、
文科科学省「子供の学び応援サイト」に、小学校先生に推奨できる
コンテンツとしてプログラミングでは唯一掲載されています。

QR : 実ページ

ミライキッズ活動：小学校のプログラミング授業を無償サポート

実施理由

- 1、小学校プログラミング授業がほぼ未実施
- 2、将来必須（小学校～高校必修化、大学受験科目化、就業に必須）
- 3、教育格差の解消



授業が実施されない理由：

以下、先生の労働負荷が大きく、授業不可能

- 1、多少専門知識と予習復習が必要（教材だけでは授業困難）
- 2、先生による準備が必要（授業内容・教材など）
- 3、総合学習などでの任意授業（必修との認識になっていない）

※小学校プログラミング授業
サポートイメージ



日経新聞：地域・学校・教員により
教育格差が広がっているとの記事



ミライキッズ活動：小学校・中学校の不登校の教育をサポート

実施理由：

1、年々増え続ける不登校児数：

文科省調査で不登校は中学校2.56%、小学校0.31%。2023年は29万人余に。前年比5万人増。中学生では20人に1人が不登校となっている。

2、不登校児の教育現状：

教育委員会、小学校が尽力。しかし家庭での個別教育など不可能。明確な解決策なし

3、プログラミングが受講したい授業NO1：不登校児へのアンケート



実施目標：

- ・ 教育格差の解消
- ・ 楽しい授業（プログラミング）で、学習のきっかけ作り
- ・ 子どもと先生・保護者のコミュニケーション向上

HPでのご説明ご
参照ください



ご提案

当活動は、現在解決策のない教育課題の解決への取り組み。
貴社・ミライキッズによる**地域、近隣小・中学校への貢献活動**です。

なお、**貴社に現場実務は発生しません。**
学校連携をメリットとお考えの場合、メリットしかありません

実務ない理由：

- ・ 指導システム・コンテンツはNPOが無償でご提供
- ・ 実務は先生が実施できるようナビゲート



実施フロー・貴社役割

1、小学校プログラミング授業サポート

- 1、教育委員会、小学校へ実施打診
- ↓
- 2、実施の先生ピックアップ
- ↓
- 3、内容やフローの説明（約2回）
- ↓
- 授業スタート
- 4、映像と先生での授業（5日以上）
- 5、作品作り（2日以上）
- 6、発表（1日以上）

2、小学・中学校オンラインプログラミング授業サポート

- 1、教育委員会、小学・中学校へ実施打診
- ↓
- 2、実施クラスなど受講生決定
内容やフローの説明（約2回）
- ↓
- 3、講師決定
- ↓
- 授業スタート
- 4、専門講師による授業（5日以上）
- 5、作品作り（2日以上）
- 6、発表（1日以上）

貴社役割：体制作りのみ（ミライキッズ事務局と小学校選定・決定、内容説明、発表日にミライキッズ事務局と一緒に参加）。現場実務など一切ありません。

教育内容

小学校プログラミング授業のサポート：

4年生：食育

5年生：防犯・防災マップを作ろう

6年生：お金の教育

不登校児オンラインプログラミング授業サポート：

地域マップ、観光マップを作ろう



